

プラスチックごみ どうしたら減らせる？



なにが 問題？

わたしたちの暮らしに大きく関わっている、プラスチック。

そのプラスチックが原因で、さまざまな環境問題を

ひきおこしているのを知っているかな？

どんな問題がおきているのか、いっしょに考えてみよう！



かいよう 海洋 おせん 汚染

ポイ捨てされ、風でとばされたプラスチックごみが海をよごしています。

特に、太陽や波・風の影響をうけて大きさ5ミリ以下のサイズになったプラスチックごみの破片を、「マイクロプラスチック」といいます。

この「マイクロプラスチック」を、魚をはじめとする海の生物がエサとまちがえて食べてしまっているよ。

みんなの食卓にならぶおかずの魚にもふくまれているとしたら、みんなはどう思う？

海に流れ出るプラスチックごみの量は、世界中で年間800万トン。2050年には海洋中の魚の量を上回ると予測されています。

環境に悪い影響を与えるだけでなく、今の生活を続けることさえむずかしくなるかもしれない。



せいたいけい 生態系 への あくえいきょう 悪影響

しぜん 自然 はかい 破壊

「地球温暖化」って知ってる？

とても暑い日や、大きな台風、大雨が降るなど、ここ数年異常気象が続いているよね。これらは地球温暖化が原因とされているよ。

その地球温暖化を引き起こしているのが、二酸化炭素などの「温室効果ガス」。

温室効果ガスは、私たちが使う「プラスチック」を燃やすことによっても、多く発生しているんだよ。



私たちの暮らしに欠かせない、プラスチック。

正しくつき合うためには、どうしたらいいんだろう？

なにを すべき？

プラスチックのごみを減らしたり、燃やしてしまう
プラスチックを減らすためにできること。
どんなことがあるかな？



* プラスチックは種類ごとに、分けてリサイクル *

材質がちがうものといっしょに混ぜないように、
種類ごとに分けて資源としてリサイクルしよう！
東海市では、食品トレイやプラスチック製容器包装、硬質
プラスチック、ペットボトル、ペットボトルキャップの種類ごとに
分けてリサイクルしています。

* 燃やしてしまうプラスチックを減らそう *

レジ袋や使い捨てのスプーンなど、本当に
必要なものかどうかを考えて使おう
プラスチック製品ではなく、マイバッグやマイボトルなど、
代わりになるものがある時は、できるだけ使わない工夫を
してみよう。紙でできたストローもあるね。

* 環境にやさしいプラスチックをえらぼう *

使うなら、トウモロコシやサトウキビなどの植物から
できる「バイオマスプラスチック」製品を選ぼう
バイオマスプラスチックは、燃やしたとしても温室効果ガス
を増やさずに処理できるよ。

キーワードは、
えらぶ・へらす・
リサイクル！



できる ことは？

プラスチックごみを減らすために、毎日の生活の
中で、できることがいろいろあるよ。
今日からさっそくチャレンジしてみよう！



- プラスチックごみは、燃えるごみとしてではなく、資源としてリサイクルしよう
- ペットボトルはラベル、キャップを分けてリサイクル！
- 出かける時は、マイバッグやマイボトルを持っていこう
- ワンウェイプラスチック（使い捨てにしてしまうプラスチック）をできるだけ
使わないように意識しよう



みんなが大人になっても、安心して暮らせる環境が続くように、
3R(リデュース・リユース・リサイクル)をこころがけてみてね！